

七月読み取りおけいこ⑥ 高学年

名前 ()

今年の土用の丑の日は七月二十八日です。ということ
で、今日は土用の丑の話をしてみましょう。

現在のようにウナギをかば焼きにするようになったの
は元禄時代（一六八八～一七〇四）のことだそうです。
そして、安永・天明年間（一七七二～一七八九）には、
江戸の町民の間で土用の丑の日にウナギを食べる習慣が
はじまったのだそうです。

もともと、奈良時代には大伴家持という人が「夏やせ
にはウナギを食べるといい」と歌によんでいます。

江戸時代にベストセラーになった『養生訓』という本
の作者、貝原益軒はこの歌を引用したうえで、ウナギが
夏におすすめの食材であることを言っています。

当時の江戸では健康ブームがわき起こり「腹八分目を
心掛ける」「旬のものを食べる」ということがいきわたり、
みんなが健康志向だったようです。

「本日土用丑ノ日」という張り紙を平賀源内がウナギ
やさんの店先に張ったという説もありますし、江戸・神
田のウナギ屋・春木屋善兵衛が丑の日に食べるようにす
すめたという説もあり、本当のところはわかりません。

しかし、古くからウナギは体によい食べ物だと思われ
ていたことは確かです。

しかし、近年ニホンウナギは危機におちいつています。
少し前まで河口にうじゃうじゃいたシラスウナギ（ウナ
ギの子）がほとんどいなくなったのです。とりすぎや温
暖化の影響と言われています。このままでは絶滅してし
まうのでは？と心配する人もいます。みなさんもそのあ
たり、調べてみては？

音読サイン↓

① 何の話ですか？ ()

② 土用の丑の日には何を食えるといいと考えら
れたのですか？ ()

③ 土用の丑にウナギ、と定着したのはいつで
すか？ ()

④ 奈良時代にウナギをすすめた人はだれで
すか？ ()

⑤ 貝原益軒のベストセラーは何という本で
すか？ ()

⑥ 江戸時代の健康ブームでいきたったことを
二つあげましょう。 ()

⑦ 土用の丑の張り紙をしたらいいと言われる人
はだれですか？ ()

⑧ あっている文に○をつけましょう。

() ウナギは大きくなるとシラスウナギになる。

() ウナギのかばやきは奈良時代からある。

() むかしからウナギは体に良いとされた。

⑨ 上の文の感想を四行にまとめましょう。

できればは？

